



# NetSkateKoban Nano®

## 導入事例： 医療法人社団 こくの医院 様



医院長室

「院内ネットワークのリプレース時に導入。無線LANへの不正アクセス遮断により、情報漏えいの防止に役立っています」



- ネットワークのセキュリティ強化のために導入
- 病院の大切な個人情報を守りたい
- ネットワークへの不正アクセスは自動的に遮断
- 「守られている安心感」がある

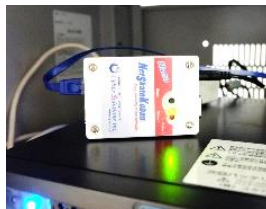
「医療法人社団 こくの医院(以下、こくの医院)」院長・理事長の穀野 真一郎氏に、NetSkateKoban Nano®を導入した経緯と効果について伺いました。

### ネットワークのセキュリティ強化のために導入

#### — NetSkateKoban Nano®を知ったのはいつですか。

院内の医療システムを刷新するため、IT環境の保守をお願いしている販売パートナーと相談をして、診療報酬明細書を作成するレセコン(レセプトコンピュータ)の入れ替えと、ネットワークをリプレースすることになりました。2015年4月のことです。

そのとき、ネットワークのセキュリティを強化できるということで、販売パートナーから提案をいただいたのがNetSkateKoban Nano®です。



#### — リプレースしたネットワークとNetSkateKoban Nano®のシステムについて教えていただけますか。

医院内のネットワークはVLANによって、2つにセグメントされています。ひとつは事務や私のパソコンなど院内業務を行うPCのセグメントで、もうひとつはレセコンや電子カルテなど医療に特化したセグメントです。

「NetSkateKoban Nano®」は図のようにメインのネットワークに設置しました。



### 病院の大切な個人情報を守りたい

— NetSkateKoban Nano®導入にいった決め手を教えてください。

以下の点を考慮してNetSkateKoban Nano®の導入を決めました。

#### 【セキュリティの強化】

以前は院内の待ち合い室にFonのルーターを置いて、アクセスポイントを解放していました。しかし、報道などで情報漏えい問題が取り上げられる機会が増え、当医院でも心配をしていました。病院には大切な個人情報がたくさんありますから。あまりにも、ネットワークのセキュリティに注意を払っていなかったため、リプレースを機に対策を施したいと考えていました。

#### 【面倒な手間がない】

ネットワークの構築と同様に、設置から運用・保守まですべて販売パートナーが請け負ってくれるとのこと。こちらで行うことは何もありませんでした。

#### 【低コストで導入できる】

NetSkateKoban Nano®の導入あたっては、初期費用と月額費用のランニングコストがかかるという話でしたが医院運営に支障をきたすほどではありませんでした。むしろ、情報漏えいによる損害と信頼の失墜に対する費用と労力を考えれば、低コストと考えました。

## － 導入はムスズに行われましたか。

**NetSkateKoban Nano®**設置後、ネットワークへの接続を許可する機器の設定(ホワイトリスト登録)を行いました。初期設定から2～3回の調整を行い、1週間ほどで設定は終わりました。これだけで今まで通り、快適なネットワーク環境となっています。もちろん、設置から設定まですべて販売パートナーにお任せです。

## ネットワークへの不正アクセスは自動的に遮断

### － **NetSkateKoban Nano®** 導入後の現在の評価をお聞かせください。

**NetSkateKoban Nano®** 導入してみて、あらためて以下の点を評価しています。

#### 【強固なセキュリティ】

私が新しいタブレットなどを買ってきて、いざネットワークに接続しようとしても、つながりません。ホワイトリスト登録が必要ですから当然ですが、強固なセキュリティを実感しています。「ちょっとセキュリティが厳し過ぎるかも」と思うぐらい強力ですね。



#### 【不正なアクセスはメールで知らせてくれる】

医院のネットワークに不正なアクセスがあった場合は、販売パートナーの担当者のもとにメールで知らせるシステムになっています。何かあれば、すぐに販売パートナーが駆けつけてくれるので安心です。

### － 実際、不正なアクセスはあったのでしょうか。

#### <販売パートナー担当者より>

実は**NetSkateKoban Nano®**を設置以降、かなり頻繁に**NetSkateKoban Nano®**からアラートのメールが届いています。すべて院内の無線LANへのアクセスなのですが、パスワードが分からなければ**NetSkateKoban Nano®**は反応しません。つまり、アラートのメールが届くということは、「誰かがパスワードを解析して院内の無線LANに侵入した」を意味します。

確かにパスワードを設定していても、ちょっと知識がある人ならネットワークに入ることは可能です。ですが、これほどとは思っていませんでした。もちろん、**NetSkateKoban Nano®**はそうした侵入者をメールで知らせてくれるだけでなく、侵入そのものを遮断することができます。しかも、**NetSkateKoban Nano®**はIPv6の通信まで検知し、自動的に遮断してくれます。本当に大きな情報漏えい対策になっていると実感しています。

## 「守られている安心感」がある

### － **NetSkateKoban Nano®**によってネットワーク環境は変わりましたか。

**NetSkateKoban Nano®**にはレポートの機能があり、3カ月に1回程度、販売パートナーと一緒にチェックしています。レポートに記載されている不正アクセスのログを見ると本当に怖いと思いますね。同時に**NetSkateKoban Nano®**があるだけで「守られている安心感」があります。

**NetSkateKoban Nano®**を設置していることで、当医院のHPを通じ「院内のネットワークは万全」であるというアピールもできます。知人のドクターには、ぜひ紹介していきたいと思っています。

### － 今後の期待をお聞かせください。

この医院は、ITを通じて最新の医療情報や技術を駆使し、地域医療の貢献にまい進していきます。

販売パートナーと**NetSkateKoban Nano®**の開発元であるサイバー・ソリューションズには、優れた製品力、技術力、提案力を通じて後方支援していただくことを希望します。今後ともよろしくお願いいたします。

#### <販売パートナー担当者より>

**NetSkateKoban Nano®**は不正アクセスが現実として存在することを理解させてくれました。セキュリティ対策には、**NetSkateKoban Nano®**が非常に有効な手段だと分かりましたので、これからはどんどん案内していきたいと思っています。



#### 医療法人社団 こくの医院 / プロフィール

山形県新庄市出身の穀野 真一郎氏が大学医局を退局後、平成11年に新庄に戻り現地に開業。「小さな診療所でありながら、大病院にも負けないような最新の医療を」をモットーにインターネットや学会誌などで常に最新の医療情報をキャッチしながら、地域医療に少しでも貢献できる医療に努めている病院です。平成19年に「ほっと新庄デイサービスセンター」平成20年に「ほっと新庄居宅介護事業所」をオープン。

「医療」と「介護」の連携も深めています。  
所在地：〒999-5103 山形県新庄市泉田10-1  
診療科目：消化器科、内科、外科  
<http://www.kokuno.com/>

取材：カスタマイズ 取材日：2016年1月



株式会社 サイバー・ソリューションズ

**Cyber Solutions Inc.** ビジネス・ディベロップメント・グループ

〒989-3204 仙台市青葉区南吉成6-6-3 ICRビル

TEL

022-303-4012

FAX

022-303-4015

E-mail

netskate-sales@cysol.co.jp